

函館工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	人間と文明 I	
科目基礎情報							
科目番号	0312		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	生産システム工学科		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		1		
教科書/教材	『アイヌ民族：歴史と現在』（財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構）						
担当教員	中村 和之						
到達目標							
1. アイヌの歴史について、地図や年表を用いてそれぞれの特徴を説明できる。 2. アイヌの文化について、地図や年表を用いてそれぞれの特徴を説明できる。 3. アイヌ史をめぐる国際関係について、地図や年表を用いてそれぞれの特徴を説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	アイヌ史の重要な用語に関して、高度な専門用語を理解し、年表・地図を用いて特徴を明快に説明することができる。		アイヌ史の重要な用語を理解し、年表・地図を用いて特徴を大まかに説明することができる。		居眠りや内職、携帯電話を見るなど授業に集中しないまたは提出物を期日までに提出しない		
評価項目2	アイヌ文化圏の成り立ちに関して、高度な専門用語を理解し、年表・地図を用いて特徴を明快に説明することができる。		アイヌ文化圏の成り立ちに関して、基礎的な用語を理解し、年表・地図を用いて特徴を大まかに説明することができる。		居眠りや内職、携帯電話を見るなど授業に集中しないまたは提出物を期日までに提出しない。		
評価項目3	アイヌ史の問題に関して、高度な専門用語を理解し、年表・地図を用いて特徴を明快に説明することができる。		アイヌ史の基礎的な用語を理解し、年表・地図を用いて特徴を大まかに説明することができる。		居眠りや内職、携帯電話を見るなど授業に集中しないまたは提出物を期日までに提出しない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	「日本史」とは違う歩みをたどった、北海道・アイヌ民族の歴史を概括的に把握し、過去と現在における人間と地域の諸問題を国際社会の多様な歴史的背景において考察できる能力を身につけることを目標とする。さらに先住民族に対する偏見を排除し、共生社会を築くための相互理解を進めることをめざす。						
授業の進め方・方法	これまで3年間に学んできた社会科関連科目の学習成果が問われる。自ら計画的に学習する姿勢が必要であり、また、広い視野と見識を身につけられるように努力することが求められる。						
注意点	◎本授業では授業中の居眠り、携帯電話の使用等について3点/回の減点を行うので、十分に注意すること。 ◎写しと判断したレポート等の提出物は誰がオリジナルであろうともすべて0点とするので十分に注意すること。 ※本授業で扱う内容は、すべて高専卒業生として当然の知識として期待されるコアであることを留意してほしい。 JABEE教育到達目標評価：試験50%（D-1）、レポート40%（D-1）、態度5%（D-1）、提出物締切り5%（D-1）						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス アイヌ研究のはじまり		アイヌ史の学習内容・学習方法を理解する。 アイヌ史の研究のはじまりについて理解できる。		
		2週	旧石器時代の文化		旧石器時代の文化の特徴について理解できる。		
		3週	縄文時代の文化		縄文時代の文化の特徴について理解できる。		
		4週	続縄文時代の文化		続縄文時代の文化の特徴について理解できる。		
		5週	オホーツク文化		オホーツク文化の特徴について理解できる。		
		6週	擦文文化と交易		擦文文化の特徴について理解できる。		
		7週	古代国家とエミシ		古代国家とエミシとの関係について理解できる。		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	答案返却・解答解説 中世国家とエゾ		間違った問題の正答を求めることができる。 中世国家とエゾとの関係について理解できる。		
		10週	モンゴル帝国とアイヌ		モンゴル帝国とアイヌとの関係を理解できる。		
		11週	北からの蒙古襲来はあったか？		北からの蒙古襲来の解釈を理解できる。		
		12週	明朝のアムール河進出とアイヌ		明朝のアムール河進出とアイヌとの関係について理解できる。		
		13週	コシャマインの戦い		コシャマインの戦いの背景について理解できる。		
		14週	蝦夷が島の戦国時代とアイヌ		蝦夷が島の戦国時代とアイヌについて理解できる。		
		15週	答案返却・解答解説		間違った箇所を理解できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	提出物締切り	合計
総合評価割合	50	40	0	5	0	5	100
基礎的能力	50	40	0	5	0	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0